

調理科2年 高大連携食物栄養特別授業に参加

平成30年3月3日(土)調理科2年69名は宇都宮短期大学(長坂キャンパス)で行われた「高大連携食物栄養特別授業」を受講しました。今回の特別授業は、宇都宮短期大学百田教授による、「ライフステージに合わせた調理実習」と宇都宮共和大学子ども生活学部月橋教授による「調理師のためのレクリエーション実習(コミュニケーション・ワーク)」でした。

《 ライフステージに合わせた調理実習 》

今回の特別授業は、乳幼児の咀嚼能力の発達に合わせた食材選び、調理法を学び、食を通じて幼児の発達や栄養摂取のあり方に対して、より高い意識を身につけることができました。



3歳児を想定し噛みごたえがある大きさに野菜を切ります。



くるくると巻く調理の楽しさと、ラップを使って衛生面も考えて調理しました。



付け合わせと彩りよく盛り付けました。



実習後は、『ロールサンド』と温かい飲み物を美味しくいただきました。

《 調理師のためのコミュニケーション実習 》

調理師は、さまざまな人との関わり（コミュニケーション）を通して、相手が何を望んでいるのかを考えなくてはなりません。コミュニケーションを取るツールとして、レクリエーションが挙げられます。

今回のレクリエーション実習は、「ディスク・キャッチ」「サークル・ジャンプ」「キャッチング・ザ・スティック」「ロープ・ジャンピング10」の4種目で、いずれもグループのメンバー同士で号令や声を掛け合って、励まし合わなくてはできないものでした。

この授業を通して、困っている人や助けが必要と思われる人に積極的に声をかけることの大切さや、人と人とのつながりの大切さを感じ取りことができました。



『ディスク・キャッチ』



『サークル・ジャンプ』



『キャッチ・ザ・スティック』



『ロープ・ジャンピング10』